

基本目標1

安全・安心に暮らせる人にやさしいまち

【安全・安心分野】

基本目標1 安全・安心に暮らせる人にやさしいまち【安全・安心分野】

施策 1-1 防災・減災対策の充実

【めざすまちの姿】

市民一人ひとりが防災・減災に対する知識を身につけ、理解を深めることで、防災意識の高揚が図られるとともに、自主防災組織等の活動の充実により、平時から災害への備えができています。防災力の高い地域社会が実現されています。

No	事業名	事業概要	H30事業費(千円)		3カ年の事業計画			区分	地方創生事業	担当課
			特定財源	一般財源	H30	H31	H32			
1	総合防災訓練事業	災害を教訓とし、市、防災関係機関、自治会、消防団、市民等が参加し、総合的な訓練を隔年実施することにより、防災意識の高揚を図る。(隔年実施)	-	-				継続		生活防災課
2	自主防災組織育成助成事業	自主防災組織の結成促進及び育成を図るため、防災用品等を交付する。	200	0				継続		生活防災課
3	震災対策農業水利施設整備事業	地震による被災の影響が大きい農業水利施設の耐震性を点検調査するとともに、地震により施設の損壊のおそれがあるなど必要な耐震性を有していない農業水利施設の整備を実施することにより災害の未然防止を図る。	19,960	19,950				継続		農林整備課
4	庁舎耐震補強事業	平成29年度に引き続き実施設計を委託するとともに、工事進捗の円滑化及び業務の効率化を図るため、本庁機能の一部を一時的に各庁舎に移転する。	99,049	30,100				継続		財政課
5	災害にも対応できる地域情報システム検討事業	本市の防災行政無線については、平成34年11月30日にアナログ電波の使用期限を迎えることから、将来の情報伝達手段を早急に検討する必要があるため、災害時の情報伝達及び地域情報の発信を行うコミュニティFMを活用したシステムや280MHzの周波帯のポケベル電波を使用した同報系無線システム等について、有識者による検討会議など開催する。	-	-				新規		生活防災課

※地方創生事業・・・「白河市みらい創造総合戦略」(平成27年10月策定)に基づく主要な事業について、総合戦略に掲げる「基本目標」と「具体的な施策」の番号を示している。以下同じ。

基本目標1 安全・安心に暮らせる人にやさしいまち【安全・安心分野】

施策 1-2 消防・救急体制の強化

【めざすまちの姿】

地域の安全を守る人材の確保や施設の整備により、緊急時に迅速かつ的確に対応できる消防・救急体制が確立することで、地域住民が安心して暮らせる環境が整っています。

No	事業名	事業概要	H30事業費(千円)	3カ年の事業計画			区分	地方創生事業	担当課
			特定財源 一般財源	H30	H31	H32			
1	消防屯所等整備事業	災害時のみならず、平常時から地域に密着した活動を展開している消防団の拠点である屯所を整備する。	60,936				継続		生活防災課
			60,128						
			808						
2	消防車両等整備事業	消防団活動に必要なポンプ自動車、小型動力ポンプ、積載車の配備を行う。	40,144				継続		生活防災課
			40,144						
			0						
3	消防施設整備(消火栓等)事業	水道管の新規敷設に伴い、消火栓の設置にかかる費用を負担する。	8,608				継続		生活防災課
			0						
			8,608						
4	消防団員装備品整備事業	災害現場での消防団員の安全確保のため、全ての団員に「救助用半長靴(安全靴)」を配備する。(H30) また、「消防団の装備の基準」に基づき計画的に装備の充実を図る。	10,482				新規		生活防災課
			10,482						
			0						

基本目標1 安全・安心に暮らせる人にやさしいまち【安全・安心分野】

施策 1-3 交通安全対策の充実

【めざすまちの姿】

市民一人ひとりの交通安全意識の醸成が図られ、交通ルールを守り、思いやりのある交通マナーを実践しています。地域ぐるみによる活発な交通安全活動などが行われ、安全な交通環境が整うことで、子どもや高齢者、障がい者の安全が確保されています。

No	事業名	事業概要	H30事業費(千円)		3カ年の事業計画			区分	地方創生事業	担当課
			特定財源	一般財源	H30	H31	H32			
1	交通安全啓発事業(4地域)	交通事故の無い安全・安心な地域社会を構築するため、市内小学生による交通安全鼓笛パレードや交通安全ポスター・標語コンクールを実施し、交通安全に対する意識の高揚を図る。	2,995				継続		生活防災課	
			0							
			2,995							
2	交通安全教育専門員事業	地域での交通安全活動や交通安全広報活動に従事する交通安全教育専門員を任命する。	3,565				継続		生活防災課	
			0							
			3,565							
3	交通安全施設整備事業	市道に計画的に区画線、カーブミラー、ガードレール等を設置し、歩行者及び通行車両の安全を確保する。	9,500				継続		道路河川課	
			0							
			9,500							
4	生徒用ヘルメット贈呈事業	中学一年生に対して、自転車通学における交通事故等から子どもたちを守るためのヘルメットを贈呈する。	1,089				継続		学校教育課	
			0							
			1,089							

基本目標1 安全・安心に暮らせる人にやさしいまち【安全・安心分野】

施策 1-4 防犯・消費生活対策の充実

【めざすまちの姿】

自分たちの地域は自分たちで守るという意識のもと、地域自衛型の防犯活動が行われ、地域社会において犯罪や事件の起きにくい防犯体制が整っています。
消費者トラブルに巻き込まれない対策が適切に行われ、日常生活の安心が確保されています。

No	事業名	事業概要	H30事業費(千円)		3カ年の事業計画			区分	地方創生事業	担当課
			特定財源	一般財源	H30	H31	H32			
1	無料法律相談事業	多様化・複雑化するトラブルに適切に対応するため、弁護士による無料法律相談を実施する。相談内容は、相続、夫婦問題、債権・債務、損害賠償問題と多岐にわたり、市民が抱える不安を解消している。	1,080				継続		生活防災課	
			0							
			1,080							
2	消費者行政事業	広範・複雑・高度化している消費者問題を解消するため、「白河市消費生活センター」を開所し、しらかわ地域消費生活相談の広域的対応に関する協定を締結し、西白河、東白川の住民からの消費生活相談に応じている。また、相談員には、より質の高い相談業務が行えるよう研修を受講させる。	6,654				継続		生活防災課	
			6,375							
			279							

基本目標1 安全・安心に暮らせる人にやさしいまち【安全・安心分野】

施策 1-5 原子力災害対策の推進

【めざすまちの姿】

放射性物質による環境汚染への対処が行われ、市内全域が放射線から安全な地域となり、市民が安心して元の生活を送れています。

No	事業名	事業概要	H30事業費(千円)	3か年の事業計画			区分	地方創生事業	担当課
			特定財源 一般財源	H30	H31	H32			
1	仮置き場設置事業	除染作業に伴い発生した除去土壌等について、中間貯蔵施設に搬出が完了するまで仮置場で安全に管理し併せて空間放射線量モニタリングも継続し実施する。	158,192				継続		環境保全課
			158,192						
			0						
2	民間宅地除染対策事業	空間放射線量モニタリングを継続的に行うとともに、市民に分かりやすく公表する。	67,764				継続		環境保全課
			67,764						
			0						
3	ため池放射性物質対策事業	放射性物質対策が必要な「ため池」については、箇所ごとに最適な実施設計を立て、順次対策工を実施する。	430,109				拡充		農林整備課
			334,027						
			96,082						